

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F126310107573	設置等組織名	生活環境科学部 人間生活科学科（仮称）、食環境科学科（仮称）
大学名	同志社女子大学	設置区分	私立	事業計画名	同志社女子大学 生活環境科学部（仮称）人間生活科学科（仮称）、食環境科学科（仮称）設置計画
学校種	大学	都道府県	京都		

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	1-① 令和6年 7月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置計画立案のための検討委員会の設置およびコンサルト契約の実施 1-② 令和6年 7月～ 企業や自治体、他大学と連携した科目の設置や連携事業を推進するための協議の実施 1-③ 令和6年 9月～ 受験生のニーズや進学動向を把握、分析するための社内校・教育連携校を対象としたニーズ調査および進路指導部との協議・懇談の実施 1-④ 令和7年 1月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた設置準備委員会および人事委員会の設置 1-⑤ 令和7年 3月～ 多様な入学者の確保に向けた入学選抜（方式・科目）策定に向けた検討の開始 1-⑥ 令和7年 3月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた教員採用の実施 1-⑦ 令和7年 9月～ 設置認可申請に向けた就職（企業）と入学（高等学校）に対するアンケート調査の実施 1-⑧ 令和7年11月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の認可申請に関する学内審議の実施	1-① 令和6年7月 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置計画立案のための検討委員会の設置 1-② 令和6年7月～ 企業や自治体、他大学と連携した科目の設置や連携事業を推進するための検討の開始 1-③ 令和6年9月～ 受験生のニーズや進学動向を把握、分析するための高校生や高校教員を対象としたニーズ調査および進路指導部との協議・懇談の実施方法等の検討 1-④ 令和7年2月～3月 高校生への需要調査、高校教員へのヒアリング調査、文献調査の実施 1-⑤ 令和7年8月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた設置準備委員会および人事委員会の設置（令和6年度は未実施・R7.3.10承認） 1-⑥ 令和7年8月～ 多様な入学者の確保に向けた入学選抜（方式・科目）策定に向けた検討の開始（令和6年度は未実施・R7.3.10承認） 1-⑦ 令和7年8月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置に向けた教員採用の実施（令和6年度は未実施・R7.3.10承認）	R6年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 女子大学の志願者の減少や本学の状況を鑑み、フェーズ1における需要調査について、より精度の高い情報収集と分析を行い、今後の計画を具体的に進めることとし、当初の事業計画から調査対象を拡大し、高校生へのWebアンケートによる需要調査、高校教員へのヒアリング調査、文献調査を実施した。調査結果の分析を行った上で、本事業の方向性や具体的な計画の検討を進めて行く。（R7.3.10承認）
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
フェーズ2 前倒し	2-① 令和7年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための心館の改修 2-② 令和7年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための新校舎の建設		○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
認可申請又は届出	令和8年3月 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科 認可申請予定			
フェーズ1 後倒し	1-⑨ 令和8年4月 開設準備および入学者の確保に向けた広報活動の実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
フェーズ2	2-① 令和7年から継続～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための心館の改修 2-② 令和7年から継続～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習室のための新校舎の建設 2-③ 令和8年10月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の実験・実習に必要となる設備・機器の導入		○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
開設又は定員増	令和9年4月 生活環境科学部人間生活科学科（入学定員100人、家政関係・工学関係）、食環境科学科 開設（入学定員160人、家政関係・農学関係）			
フェーズ2 後倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
フェーズ3	3-① 令和9年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の設置と教育・研究活動について広く社会に発信するためのシンポジウムや講演会の実施 3-② 令和9年 4月～ 高等学校に対する高大接続推進のための出張講義、体験型授業の実施 3-③ 令和9年 4月～ 多様な入学生確保に向けた説明会や相談会の実施 3-④ 令和9年 4月～ 生活環境科学部人間生活科学科、食環境科学科の認知度向上や十分な学生確保を実現するための広報活動の実施 3-⑤ 令和9年 4月～ 企業開拓や学生の出口保障に向け、企業に本学の学びを発信するための活動の実施 3-⑥ 令和9年 4月～ PBL科目等の連携事業のさらなる充実のため、企業、自治体、他大学との協議の継続的な実施 3-⑦ 令和10年3月～ 教育研究活動のさらなる充実のために、在学生に対するアンケート調査の実施		○年度自己評価	リストから選択してください。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
定員減又は学部等の廃止	令和9年度 既存学部学科260人減員予定			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	同志社女子大学
-------------	-------	-----	---------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。				
	<table border="1"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック				
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。				
	<table border="1"> <tr> <td>計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。				
	<table border="1"> <tr> <td>認定を受けておらず申請する意向もない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック		
認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック				

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	同志社女子大学
-------------	-------	-----	---------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（関係開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a. 人間生活科学科では、地方自治体と連携し、既存インフラの再生計画や住民コミュニティの活性化に関する実践的教育プログラムを実施する。また、企業とのPBL科目を導入し、地域に貢献する研究を社会実装させるためのプロジェクト研究や、地域資源の保全活用を目的としたワークショップの開催を検討する。食環境科学科では、農林水産省近畿農政局や京都市教育委員会等と協働し、近隣の小学校における実践的食育活動や農業体験活動を発展的に継続し、学生の社会貢献意識の向上に繋げる。また、食品系企業との連携による現在のPBL科目では、商品開発や販売促進活動をおとした社会性の醸成やキャリア意識の向上が認められている。さらに、課題設定や活動方法を整備し、食品産業により貢献できる人材育成に繋げる。	本事業の推進にあたり、新たに設置する生活環境科学部の内容および教育課程の検討を目的として、生活科学部の教員と企画部のメンバーによる検討組織を立ち上げ、協議を進めている。 令和6年度は、主に需要調査を中心に計画を推進した。（R7.3.10承認）今後は、調査結果の分析を踏まえたうえで教育課程の検討を行い、企業や自治体、海外大学との連携についても検討を進めていく予定である。	令和6年度は、主に需要調査を中心に計画を推進した。このため、企業や自治体、海外大学との連携を含めた教育課程の検討については、調査結果を踏まえたうえで具体的に進めることとした。（R7.3.10承認）令和7年度においては、調査結果の分析を行い、具体的な検討を進めていく計画である。
c. 人間生活科学科では、フィンランドへの海外研修の準備として、2024年度にメトロビア応用科学大学、ラハティ応用科学大学等と、衣食住分野におけるSDGs活動をおとした教育連携について協議する。さらに、タイの伝統工芸品を近代的な製品として再生する「Koyoriプロジェクト」への参画経験をもつ教員を中心に、ラジャマングラ工科大学(ランナー校、タンヤブリ校)との協働プロジェクトを計画する。食環境科学科では、ヘトナム国立栄養研究所等の協力のもと、現地の栄養関連施設の視察や学生間交流を企画する。また、韓国にも視野を広げ、かねて総長と親交のある同徳女子大学との高付加価値食品開発等の連携プログラムの実施も検討する。		

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a. 従来の家政学に加え特定成長分野の学びを複合した分野へ移行することを踏まえ、入試方式・入試科目の見直しを行う。	入学者選抜に関しては、高校生を対象とした需要調査および高校教員へのヒアリング調査を通じて、当該分野を志望する高校生の科目選択の傾向等の把握に努めた。	
c. 当該分野ならびに本学への興味・関心を喚起すべく説明会や分野ガイダンスを実施する。また、出張講義や体験型授業、キャンパスツアー等、多様な学習機会の提供と進学意識の向上に繋げる。さらに、人間生活科学科ではSSH校や工業高校との連携、食環境科学科では、近隣の小学校に加え中学校・高等学校での食育活動や自治体の健康増進事業への連携も推進する計画である。	今後は、これらの調査結果の分析結果等を踏まえ、教育課程の検討とあわせて、多様な入学者の確保に向けた入学者選抜の検討および各種取り組みを進めていく予定である。	
d. 新学部においても社会人学生を対象とした入試制度を導入する。また、人間生活科学科では高等専門学校卒業生等の準学士をもつ社会人の3年次編入学制度の導入を検討する。食環境科学科では栄養士有資格者対象とした2年次編入学制度や、食関連従事者対象とした3年次編入学試験の導入を検討する。さらに、広く社会一般の方々にも勉学の機会を提供し生涯学習を促進するために履修証明プログラムを新学部へも拡大し、社会人の学び直しの契機にするとともに、本学への社会人学生の受入れに繋げる。		
e. 新学部においても留学生を対象とした入試制度を導入するとともに、本学への留学生の興味・関心を喚起するために、外国人学生を対象とした進学説明会への参加等、情報発信の強化を計画する。留学生の受け入れにあたっては、奨学金や交流イベント等による支援策を実施することに加え、リモートオープンキャンパスやTAによる留学生支援制度の導入を検討する。		

大学名	同志社女子大学
-----	---------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1450	1450																		
		入学者数	人	1536	1552																		
	その他の学期	入学定員	人	***	***																		
		入学者数	人	***	***																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,450	1,450																		
		入学者数(B)	人	1,536	1,552																		
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.06	1.07																		
	収容定員等	収容定員(C)	人	6045	6050																		
		編入学定員	人	0	0																		
		在籍者数(D)	人	6382	6403																		
		編入学者数	人	2	2																		
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.06	1.06																		

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況			選定-6年	選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		175,787	175,683	189,918	169,591	225,254	191,659													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	
本事業による助成金の額(F)	千円	
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	
	180,463	
	2,169,999	
	234,713	

特記事項

「3.大学（学士課程）の状況」の令和6年度および令和7年度の編入学定員0人とは、若干名を意味している。